

新浜集会場新築工事に伴う

吉原遺跡発掘調査 現地説明会資料

令和2年9月12日(土)午後1時30分～3時



公益財団法人

和歌山県文化財センター

和歌山市岩橋1263番地の1

電話：073-472-3710



すえきつぼ かま どき
須恵器壺 (窯で焼かれた土器)



吉原遺跡 発掘調査位置図

はじめに

吉原遺跡は、過去にも発掘調査が実施され、昭和62・63年度の県道柏御坊線に伴う発掘調査(本調査区の北側の道路部分)では弥生時代の土壙墓(墓穴を掘ってその穴に遺体を埋葬したもの)や方形周溝墓(方形にめぐる溝を掘って出た土を中央に盛り上げて遺体を埋葬したもの)、平安時代の土壙墓、古墳時代の溝など、平成28年度の都市防災総合推進事業に伴う発掘調査(松原地区高台津波避難所)では中世から近世の火葬墓などが確認されています。

今回の発掘調査は、美浜町の新浜集会場新築工事に伴うもので、令和2年7月から開始しました。集会場の建物部分(2区：491.9㎡)、周囲の側溝部分(1-1区：138.3㎡・1-2区：93.1㎡)について発掘調査を行ないました。元は松林でしたが、この新築工事のために伐採した後の切株の除去も行っています。現在の地表面から30～60cmほど掘り下げたところで、弥生時代の土器が出土する土坑や溝などの遺構を確認しました。弥生時代の壺や甕などの土器、弥生時代の石製紡錘車(糸を紡ぐときの錘)、また、切株の除去作業中に古墳時代の須恵器の壺で口縁部が欠けた状態のものが出土しています。



須恵器壺の出土地点

